

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月 29日

事業所名:障害児保育園ヘレン荻窪

	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1. 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	1	0	コロナが増えているので、広さはもう少しある方がいいと思います 狭い	コロナ禍での園運営の為、密を避けた保育活動を実施していきます。また、ソーシャルディスタンスを心がけつつ、手洗い、手指消毒、換気、設備の消毒を実施し、最大限の感染対策に努めていきます。 部屋に必要な物品以外は置かず、収納場所を整理して園児にとって安全な環境作りを徹底していきます。
	2. 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1	1	0	専門性に疑問を感じる	職種別での内外研修を定期的に指示・実施して、スタッフのスキルアップ向上に努めていきます。
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	0	1	一年以上園の内部が公開されていない	コロナ禍の影響で保育参観や園内の園児引き渡しに難しい状況でした。今後は情勢を確認しつつ、保育参観や園内の様子が確認出来るような機会を作れるように検討していきます。
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	0	0	コロナ同時複数感染があった	引き続き、ソーシャルディスタンスを心がけつつ、手洗い、手指消毒、換気、設備の消毒を実施し、最大限の感染対策に努めていきます。
適切な支援の提供	5. 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	0	1	0	ヘレンが提供できるサービスに制限があり、保護者のニーズには必ずしも合致しない	保護者の方のニーズを把握しながら、事業所として提供できる支援を丁寧に説明していきます。
	6. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定文字数	5	0	1	1	決まり文句でなく、少人数かつ症状も様々だからこそ、個別具体的な支援をお願いしたい	「保育園」という集団生活の特性を十分に活かしながら、個々に合った支援や活動が取り入れられるように努めていきます。
	7. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	1	0	1	計画した支援が達成できていなかった	児童発達支援管理責任者を中心に、目標や支援方法を見直し、適切な計画を検討していきます。
	8. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	1	0	コロナ禍のせいによらず、多様な活動を模索してほしい	園長、児童発達支援管理責任者を中心に活動プログラムの見直し、検討を重ねていきます。来年度は年間計画をもとに園児の発達や特性に合わせた保育が提供できるように努めていきます。
	9. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	3	全くない	コロナ禍の影響で近隣の児童施設(保育園等)との交流は見合わせていました。今後は、自治体と情報をもとに検討を進めて行く予定です。
保護者への説明等	10. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	1	0	不透明で説明を受ける機会に乏しい	利用者負担等、変更や依頼が発生する場合は必ず事前に説明する機会を作り、適切なタイミングで対応できるように努めていきます。
	11. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	1	0	0	ガイドラインについては説明はなかった	児童発達支援利用契約書に記載の通り、個別支援計画書の作成・説明をさせて頂いています。必要に応じて補足させて頂きます。
	12. 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1	2	3	1	保護者が園スタッフに子の特性を理解してもらえよう説明することはあるが、その逆はない。	現在、家族支援プログラムに沿った支援は実施していませんが、必要に応じて導入を検討していきます。 また、スタッフがペアレント・トレーニングの研修に参加することで保護者の方にお役に立てるような機会を検討していきます。
	13. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	6	0	1	0	共通理解というより、保護者からの確認に園もしくは本部が適切に対処できていない。園と本部の連携もできていない。確認に時間を要する上に、質問に真正面から回答がない。	保護者の方からの相談やご質問に対して、真摯に受け止め、迅速かつ適切な対応や回答ができるように努めていきます。
	14. 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	0	1	0	園で問題が起きてから保護者側から依頼する面談はある。	個別支援計画の面談(年2回)及び、日々の送迎時の際に実施できるように努めていきます。
	15. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	3	2	2	0	保育園側からは機会の提供はない。保護者は保育園とは独立して独自にコミュニティを築いている。	コロナ禍の影響で保護者同士の交流の場を提供することが難しい状況でした。今後は情勢を確認しつつ、対面またはオンラインでの保護者会を検討していきます。
	16. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	2	1	保護者からの照会に対して、何ヶ月も時間を要する。またその際も園側から自発的に回答はない。確認中という回答もできないことは理解し難い。	保護者の方からの相談やご質問に対して、回答期限を明示し、迅速かつ適切な対応に努めていきます。
	17. 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1	1	0	前述の通り、園・本部と保護者のコミュニケーションが悪い。特に管理者やマネージャーが建設的なコミュニケーションを取ろうとしていない。	16の設問同様、園と本部事務局の連携を密に、適切な対応に努めていきます。
	18. 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	0	1	0	情報発信が圧倒的に少ない。	園だよりやマチコミメールを利用した園からの情報発信を行っています。引き続き、保護者の方のニーズを把握し、定期的な発信に努めていきます。
19. 個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	0	1	0	障害児や医療ケア児のプライバシーや個人情報への配慮がない。それどころか、ヘレンの宣伝や社会へのアピールに子供たちが悪用されると感じる。適切な配慮は急務。	園児はもちろん、保護者の方が安心して利用できるサービスの提供に努めています。引き続き、保護者の方の思いを受け止めて、十分な配慮を行っていきます。	
非常時等の対応	20. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	0	0	6	園から情報発信が乏しい	救急搬送や災害時避難訓練等、定期的に訓練を行っています。感染症防止対策マニュアルや適切な避難誘導方法をクラス毎に検討しています。今後はその状況を保護者の方にお伝えできるような方法を検討していきます。
	21. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	0	0	0	7	園からの情報発信が乏しい	毎月1回以上、定期的実施しています。あらゆる災害の場面を想定した訓練を行い、振り返りを行っています。20の設問同様、保護者の方への共有方法を検討していきます。
満足度	22. 子どもは通所を楽しみにしているか	6	1	0	0	活動内容が単調	8の設問同様に、園長、児童発達支援管理責任者を中心に活動プログラムの見直し、検討を重ねていきます。来年度は年間計画をもとに園児の発達や特性に合わせた保育が提供できるように努めていきます。
	23. 事業所の支援に満足しているか	5	1	1	0	安全性の確保と個人情報・プライバシー侵害への配慮は大前提であり、改善が急務	引き続き、保護者の方のニーズを把握しながら安全な園運営に努めてまいります。